

しその害虫ウリハムシモドキに対する数種殺虫剤の防除効果

【1 成果の概要】

(1) ペルメトリン乳剤（商品名：アディオン乳剤）およびジノテフラン水溶剤（商品名：アルバリン顆粒水溶剤・スタークル顆粒水溶剤）は、ウリハムシモドキに対して実用的な防除効果があります。



図1 ウリハムシモドキ幼虫(左)、食害を受けたしその葉(右)

【2 試験成績の概要】

平成28年度 花巻 (薬効試験)

供試薬剤	1区10株 3反復	調査茎数 (本)	30株あたり被害茎葉数		
			処理3日後 (6月8日)	処理8日後 (6月13日)	処理15日後 (6月20日)
アディオン乳剤 4000倍 散布	合計	168	0	1	5
	被害茎葉率 (対無処理比)		0.0 (0.0)	0.6 (2.8)	3.0 (7.7)
アルバリン顆粒水溶剤 3000倍 散布	合計	165	0	2	6
	被害茎葉率 (対無処理比)		0.0 (0.0)	1.2 (5.6)	3.6 (9.2)
無処理	合計	154	8	33	60
	被害茎葉率 (対無処理比)		5.2 (100)	21.4 (100)	39.0 (100)

平成29年度 川井 (薬効試験)

供試薬剤	1区20株 3反復	調査茎数 (本)	60株あたり被害茎葉数		
			処理3日後 (5月26日)	処理7日後 (5月30日)	処理14日後 (6月6日)
アディオン乳剤 4000倍 散布	合計	247	0	1	4
	被害茎葉率 (対無処理比)		0 (0.0)	0.4 (8.2)	1.6 (11.4)
アルバリン顆粒水溶剤 3000倍 散布	合計	256	5	7	13
	被害茎葉率 (対無処理比)		2.0 (80.0)	2.7 (55.1)	5.1 (36.4)
無処理	合計	243	6	12	34
	被害茎葉率 (対無処理比)		2.5 (100)	4.9 (100)	14.0 (100)

摘要

各年とも、定植直後のしそに所定濃度の各供試薬剤をハンドスプレーを用いて十分量散布した。1区10～20株の3反復とし、各調査日毎に全茎葉における食害の有無を見取り調査し、被害茎葉率を算出した。薬剤処理に対する降雨の影響はなかった。

【3 留意事項】

- (1) ペルメトリン乳剤は、しそに作物登録があり使用できますが、ウリハムシモドキに適用はありません。（平成29年11月30日現在）
- (2) ジノテフラン水溶剤は、しそに作物登録があり、平成29年11月22日付けでウリハムシモドキに適用拡大されました。

担当研究室 環境部 病理昆虫研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1 TEL: 0197-68-4424 FAX: 0197-71-1085